

道徳だより

令和6年 2月
七塚小学校
校長 稲垣 優子
2年生担当

今回は、2年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：だれにでもやさしく

教材名：「ぐみの木と小鳥」

《ねらい》

小鳥のりすとぐみの木に対する二つの思いやりについて考えることを通して、りすやぐみの木に喜んでもらい、親切にすることのよさを感じ、困っている人に温かい心で接しようとする態度を育てる。

《あらすじ》

おなかをすかせた小鳥は、ぐみの木から実を分けてもらった。ぐみの木が、最近姿を見せない友達のりすを心配していることを知った小鳥は、ぐみの木の代わりにりすの様子を見に行くことにした。りすが病気で寝込んでいたことを知った小鳥は、毎日ぐみの実を届けてあげることにする。嵐の中でもぐみの木を届けに行き、りすとぐみの木から感謝されるお話です。



教師の問いかけ



りすにお礼を言われたとき、小鳥はどんなことを思ったかな？

- 元気になってよかったな。
- がんばって届けてよかったな。
- 途中であきらめないでよかった。
- がんばれば嬉しい言葉をもらえるんだな。



今回の授業では、進んで親切をする小鳥の気持ちを考えました。お礼を言われた時の「頑張ってたかったな」「諦めないでよかったな」「頑張れば嬉しい言葉をもらえるんだな」という気持ちに子ども達は気づいていました。そして、自分も小鳥のように進んで親切なことをしていきたいという思いを持っていました。その温かい気持ちを忘れずに学校生活を過ごしてほしいです。